

参考	Windows Server 2008 でご使用時の注意事項
	Windows Server 2008 で使用される場合の注意事項をお知らせします。



Windows Server 2008 環境を快適にご使用いただくため、コンピュータの搭載メモリは1GB 以上を推奨します。
搭載メモリが1GB 未満の場合は、動作が遅いなど、GaiaMX のほか一部のソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

■製品の検証環境

対応する「Windows Server 2008」製品は以下のとおりです。

- ・ Windows Server 2008 Standard 日本語版
- ・ Windows Server 2008 Enterprise 日本語版
- ・ Windows Server 2008 Datacenter 日本語版

※Windows Server 2008 64bit(x86) 版には対応しておりません。

■Windows Server 2008 対応のバージョン

【GaiaMX】
Version7.15 Build0.42 以降

■ 対応状況

機能	対応状況と対応方法
プロテクト	USB タイプのみ利用可能です。 パラレルポートをご使用の方は、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。
システム更新	<ul style="list-style-type: none"> ・一般ユーザーでログインしている場合 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。(※2) 管理者 ID とパスワードを入力して下さい。 ・管理者ユーザーでログインしている場合 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。(※1)
インストール	インストールフォルダに Users のフルコントロールの設定が必要です。「 ●アクセス許可の設定方法 (P.4) 」をご参照下さい。
独自外字の自動切換え	管理者として実行(※3)します。
Gaia チャンネル	システム更新の場合のみ、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
ユーザー管理	「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。(※1)
ユーザーサポート	サーバー版のデータベースの検証およびログ変換はできません。
システムメンテナンス	「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。(※1)
サーバーとして使用する	GaiaMX のサーバーとして WindowServer2008 を使用する場合、クライアントのアカウントの登録が必要になります。
クライアントとして使用する	GaiaMX のクライアントとして WindowServer2008 を使用する場合、クライアントのアカウントをサーバーに登録する必要があります。

(※1) 右図の「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、支障ありませんので [許可] をクリックし、継続して下さい。



(※2) 右図の「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、管理者アカウントを選択し、パスワードを入力して下さい。

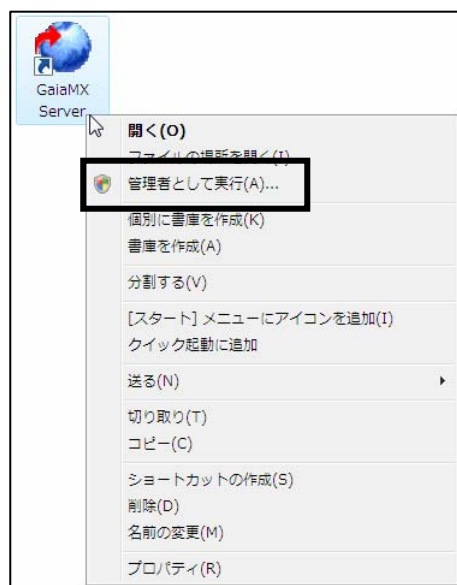


(※3) Gaia**アイコンを右クリックし、
[管理者として実行] を選択します。



Gaia **は、お客様のお使いのシステムにより、
以下のように読み替えてご覧下さい。

GaiaMX サーバー版 → GaiaMX Server
GaiaMX クライアント版 → GaiaMX Client



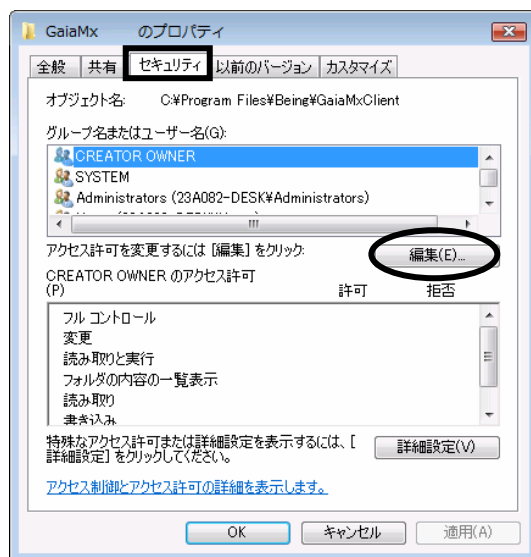
「ユーザーアカウント制御」を「使用しない」環境では、(※1) (※2) の
「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。



●アクセス許可の設定方法

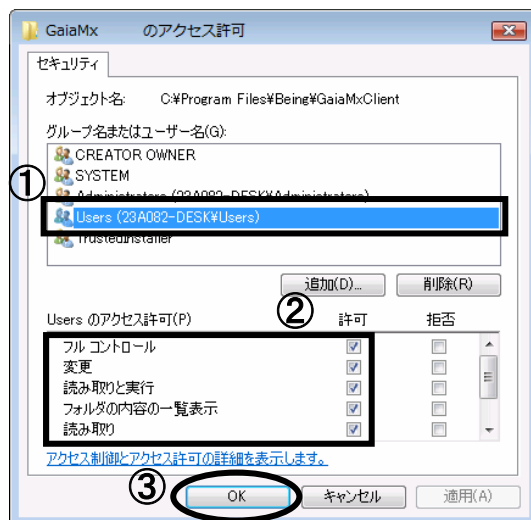
インストール先のフォルダにて、
右クリックメニューの [プロパティ] を
クリックします。

右図の「プロパティ」画面が表示されます。
「セキュリティ」タブをクリックし、
[編集] をクリックします。



「アクセス許可」画面が表示されます。

- ① 「グループ名またはユーザー名」欄にて、
[Users] を選択します。
- ② 「Users のアクセス許可」にて、
「フルコントロール」にチェックを
入れて下さい。
- ❖ 「拒否」欄にチェックがないことも、
ご確認下さい。
- ③ [OK] をクリックします。



- ④他のダイアログも [OK] をクリックして閉じ、
「フォルダアクセス許可の確認」画面まで戻ります。